



森の環境キャンプ

平成 29 年 3 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日)

【趣 旨】 自然の家周辺の森と関わる活動を通して、森と人、その他の動植物との関係について考え、森の環境への関心を高める。

【参加者】 県内小学生 4 ~ 6 年生 44 名 (申込 47 名)

【プログラムの内容】

1 日目 10 : 30 はじめの会
 11 : 00 参加者交流タイム
 13 : 30 森の生き物見つけ
 15 : 00 生き物のつながりを学ぶ活動
 18 : 30 森と人とのつながりを学ぶ活動

2 日目 9 : 30 木の活用法を学ぶ活動
 13 : 30 まとめ
 15 : 30 解散

参加者交流タイム

山口市、防府市、周南市、柳井市から集まってきた小学生たちは、初めて会う人がほとんどでした。まずは、7つのグループに分かれて自己紹介やゲームをしながら交流しました。



森の生き物見つけ

山道を歩きながら自然の中にある不自然物を見つけるゲームをしました。全部を見つけることができたのはたった1人。注意して見るゲームを通して観察する目を養いました。



ゲームで高めた観察力を生かし、土の中にいる生き物を探しました。よく見ると小さな生き物がいろいろいることがわかりました。生き物たちが植物を土に変えていることも学びました。

生き物のつながりを学ぶ活動

見つけた生き物や森に棲んでいる生き物がどうつながっているかを絵に表しながら考えました。自然界の「食う」「食われる」関係を考えながら矢印を書き加えました。



一人で考えるよりいろいろなアイデアが出て、おもしろい図が完成しました。その後、グループごとに考えたことを発表し、森の生態系について学びました。



森と人とのつながりを学ぶ活動



生態系の図を使って森と生き物とのつながりを学び、人と森とはどうつながっているのかも考えました。森の環境を維持するために「間伐」という方法があることも学びました。

木の活用法を学ぶ活動



近くの間伐林へ行き、「間伐」がどういった効果があるのかを体験しました。間伐されていない林にも入り、間伐の効果を感じることができました。

その後、間伐された木を協力しながら切り、フクロウの形になるように細工をしてキーホルダーを作りました。



おわりの会

個人の感想を全員が発表し、最後に森の働きについて学びました。森の環境を守ることが人の生活を守ることにもつながることがわかりました。



【参加者の声】 間伐材というのはどういう意味がわかりました。森に入ると気持ちよくなりました。間伐をすることで森に光が入って、土砂崩れなどを防ぐことができるとわかった。学校で間伐について習ったけど、今回のキャンプでよくわかりました。

【成果】 森の生き物や生態系、間伐の意味について伝えるとともに、人と自然とのつながりについて理解してもらうことができた。

【課題】 森の環境の何について学んでもらうか、もっと焦点化したプログラムを考えられるとよかった。何を知り、何を理解できたのかを把握するための方法を工夫する必要がある。